

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ

会報



会長 多賀 学昭
副会長 川上 幸子
幹事 坂田 師通

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

例会場 ホテル泉屋 2F

事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4
ホテル泉屋内 TEL・FAX 0983-21-1636

第2332回 令和7年2月20日プログラム

- | | |
|----------------------|----------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング 我らの生業 | 8. 委員会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 9. 外部卓話 |
| 4. 会長の時間 | 10. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | 11. |
| 6. 出席報告 | |

高鍋ロータリークラブテーマ

『共に語り、共に栄え、共に未来への種を蒔こう』

第2730地区ガバナー 笹山 義弘

中部グループガバナー補佐 戸高 勝利

RI会長テーマ 『ロータリーのマジック』

第2730地区テーマ

『ロータリーのマジックで、ロータリーを楽しもう』

2月の月間テーマ

平和と紛争予防/紛争解決月間

本日の例会案内

- *外部卓話—新田原基地司令 大嶋善勝様
- *米山奨学生奨学金授与・報告 鐘 梓軒君
- *ポリオBOX

次週例会案内; 2月27日(第2333回)

- *外部卓話—高鍋税務署長 中村茂人様
- *100万ドルランチBOX
- *例会終了後プログラム委員会

第2331回 例会内容 (2/13)

□会長の時間

会長 多賀 学昭君

皆様、今日は、本日もご出席ありがとうございます。

先週は当クラブの14名の方々と一緒に米沢上杉ロータリーへの表敬訪問、そして「米沢雪灯籠祭り」の見学に行きまわりましたが、何十年ぶりという大雪で本場にびっくりしました。

70代とおぼしき女性が、自宅の門の狭い屋根に上って雪下ろしをしているのを見て、「落ちはしないか?」とはらはらしましたが、米沢のロータリアンの皆さんが「俺も今朝は3時から雪かきだったから。」と明るく語っておられるのを見聞きして、改めて雪国の人々のたくましさ、明るさ、暖かさに感動を覚えました。大変行き届いた暖かいご接待を頂いたこと心から感謝してご報告を申し上げたいと思います。

また7日夜の例会には愛知県の西尾ロータリークラブの役員の方々も見えており、大いに歓談して盛り上がったこともご報告いたします。

さて、今日は仏教に於いては人間の心をどう考えているのかについて少しお話申し上げたいと思います。

私たちは日常生活の中で、家族や友人と楽しい時間を



過ごしたり、また職場の人間関係や取引相手との利害得失のぶつかり合いとかいろいろなストレスを抱えたりしながら過ごしています。信頼する相手と喜び悲しみを分かち合うこともあれば、相手を憎んだり妬んだり、怒りを感じたり、というマイナスの感情に引きずられてしまうことも多々あります。こういった自分の狭い世界の中で利害得失、毀誉褒貶に一喜一憂している心を「世間心」と言います。

しかし私たちにはまた別の心が存在します。この頃梅の花がやっと咲きました。「可愛いなあ。」と思います。堇の花が咲くと「春が来たなあ。」とうれしくなる。桜が咲くと「毎年咲いても桜はやっぱいいなあ。日本人に生まれて良かったなあ」と思うのは私だけでしょうか。

また、旅をして大自然の雄大な景色に触れると胸が震えるような感動を覚えます。私は阿蘇の外輪山、大観峰からの眺望が大好きで、子どもたちが小さいころは五月の連休になると毎年阿蘇に連れて行って、大観峰からの眺めを楽しんでおりました。普段は「あいつがこう言った。こいつがこう言った。おのれどうしてくれようか。」とそんなことばかりで渦巻いている胸のうちが、阿蘇の山々、眼下に町や村々が広がる広大な風景を目にすると何もかも拭い去られて、「ああいいなあ。せいせいするなあ。」と本当に晴れ晴れといたします。皆さんどっちが本来の、本当の自分の心なのでしょう。そして、そもそも人間は感動するのでしょうか。一輪の花を見ても、雄大な景色を見ても感動しますが、これが自分と何の関りもなければ

感動はしないと思います。やはりこの大自然や宇宙を貫く命や心と、自分の命と心とがどこかで響きあっているから感動するのではないのでしょうか。感性の世界ではこういうことがよく起こります。

滝廉太郎の「花」の一節、「見ずや あけぼの露浴びて 我に物言う桜木を 見ずや 夕暮れ手をのべて 我さしまねく青柳を」というように満開の桜の木が自分に語りかけてきたり、柳の葉が手をさし伸ばしておいでおいでしている世界が自然に広がってくる。情緒というのは文字通り周囲と自分が情で結ばれていると言うことですが、これは実は大切な心の栄養であり、今の世の中がギスギスしているのは、この「心の栄養である情緒が枯渇してしまっているからではないのかな」と考えたりします。

こういった心を「自然心」と言って良いかと思えます。

さてもう一つ滝廉太郎の歌、かの有名な「荒城の月」の一節、「天上影は変わらねど 栄枯は移る世の姿 映さんとてか今もなお 嗚呼荒城の夜半の月」。かつて、もののふの宴が繰り広げられた盛んなる有様も、秋の戦場の陣営に立ち並ぶ槍の冷たく輝く穂先も、今の荒れ果てた城の姿も、千古万古を照らしてきた月の姿は時間や空間を超えた永遠なるものの象徴だと言えましょう。

我々の心の中にはこのような永遠なるもの、真実なるもの、絶対なるものに迫ろうとする感性が確かにあるように思われます。このような時間空間を超えた広い世界を感じ取る心を仏教では「法界心（ほっかいしん）」と呼んでおります。

実はこの永遠なるものに触れたいと願う心は人類に共通な普遍的な心であり、感性から一步進んで「靈性」と呼ばれるものであります。キリスト教の世界では1962年から1965年まで第2バチカン公会議という歴史的な会議が開催され、世界中から4500名の聖職者が参加したといわれます。その後、世界の宗教とキリスト教との対話や交流が始まり、キリスト教の神父たちが日本の禅寺で座禅の修行をしたり、浄土宗の僧侶がヨーロッパの修道院でミサに参加したり、いっしょに念仏を唱えたりするという今まで考えられなかった交流が生まれました。

時間がないので話が飛躍してしまうようですが、キリスト教で「聖霊を感じる」と言い、禅では「見性成仏」と言い、我々念仏門では「如来の光明に触れる」と言いますが、これは言語や五感を超えたある絶対的な存在に触れるという点で共通した体験ではないかと想像しております。

私の師匠はよく「ドイツ語でヴァッサーと言い、英語でウォーターと言い、日本語でミズと言い、中国語でシュエイと言う。言葉の上で100年議論してもこれが同じものかどうかは分からないが飲んでみれば一発で同じ『水』ということが分かる。そういうものだ。言っておられました。

人間は皆その絶対なる存在に触れることができる靈性をもっている。それが仏教の立場です。

それでは本日もロータリーをお楽しみください。

□幹事報告<文書案内> 幹事 坂田 師通 君

*2024-25年度新会員ラーニングセミナーのご案内

日時 2025年4月6日
10:00~15:30

場所 ホテル中山荘

登録料 3,000円

*日向東RC創立50周年記念大会のご案内

日時 2025年5月24日
15:00~18:00

登録料 10,000円



□外部卓話 ヴィアマテラス代表 秋本 範子 様



講師紹介 甲斐宏昌君



米沢報告 藤本範行君

□BOX披露 親睦活動委員長 高橋 康朗 君
 <ニコニコ・財団・米山BOX>

【多賀学昭君】秋本範子様、本日はようこそおいでくださいました。P.S米沢は楽しかったです。



【坂田師通君】①楽しい米沢の3日間でした。会員の皆様すべてに感謝します。

②秋本範子様ようこそ高鍋ロータリークラブへ。本日は宜しく願います。

【福岡直樹君】母の葬儀に御弔慰を賜り厚くお礼申し上げます。

【野添勝久君】山形では手厚い接待を受けました。本日はヴィアマテラス宮崎の秋本範子代表の卓話を楽しみにしています。宜しくお願いします。

【藤本範行君】ヴィアマテラスの秋本さん今日は卓話を楽しみにしています。先日、米沢の皆さんから大歓迎を受け、よろこんで帰って来ました。感謝感謝です。

【甲斐宏昌君】秋本代表本日はよろしく願います。



ソングリーダー橋口君



ピアノ演奏 森さん

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか

□出席報告 出席委員長 児玉 幸則 君

出席状況報告 (2/13)

| | |
|--------|--------|
| 会員数 | 38名 |
| 出席会員数 | 28名 |
| ホーム出席率 | 75.68% |
| 修正出席率 | 81.08% |



テーブルの花



本日の食事

「ロータリーの目的」

- ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。
- 第1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
 - 第2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
 - 第3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
 - 第4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。